

## 2020年は、オンライン×リアル融合型イベントに！



3年に一度開催される障害者と多様な分野のプロフェッショナルによる現代アートの国際展「ヨコハマ・パラトリエンナーレ」。3度目となる今回は、次のステージに向けたこれまでの集大成として、「our curioCity -好奇心、解き放つ街へ」をテーマに開催します。新型コロナウイルスで社会の価値観が大きく移りゆく中で、2014年からヨコハマ・パラトリエンナーレの活動を通じて発信し続けてきた、想像力と創造力を駆使した「共創力」を、オンライン上の多様なコンテンツと新築された横浜市庁舎内の人々が行き交う公共空間とを融合させて発信していきます。（開催期間：プレ会期 8月24日（月）～ / コア会期 11月18日（水）～ 11月24日（火））

[過去の様子]



第1回開催（2014年） テーマ：はじめてに出会える場所



第2回開催（2017年） テーマ：とけあうところ

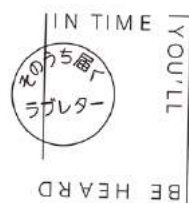
### 本年度の主な開催プログラム

#### パラトリテレビ



障害者と多様な分野のプロがつくるニューメディア「パラトリテレビ」。ヨコハマ・パラトリエンナーレを共に創りあげている、パラトリ・ファミリーが、パラトリの魅力ダイレクトに伝える番組を制作。障害の有無によらないフラットな関わりの中で、各個人の特性を活かしたクリエイションを得意とするパラトリの世界を、番組を通じて発信する。

#### BOOK PROJECT 「そのうち届くラブレター」



障害のある表現者と多分野のアーティストによる、読む展覧会「そのうち届くラブレター」。パラトリエンナーレの第3回目となる美術展はこれまでの取り組みの延長線上に立ち、「障害」とは何かを根底から問うテーマを設定。人間が誰も抱える、わかりあうことの不可能さを見据えながら、その絶望を乗り越えていく視点・姿勢をもった6人の作品に対し、8人と1組の表現者たちがそれぞれの方法で彼らの作品への応答を試みます。

#### サーカスアニメーション パラトリみらいサミット



両足義足のサーカスアーティストであるエリン・ポール（カナダ）をはじめとした世界のサーカスアーティストと日本初のソーシャルサーカスカンパニー SLOW CIRCUS PROJECTのメンバーが、国境と時空を超えたサーカスアニメーションの共創に挑戦。オンラインで配信します。コア会期中には、個性豊かなSLOW CIRCUS PROJECTのメンバーと、みなとみらい本町小学校5年生を中心としたこどもたちが、議論を交わす「パラトリみらいサミット」も開催します。

#### Paratori LAB



プレ会期からコア会期まで、二つのテーマでオンラインゼミを開催。「食」を切り口に福祉や持続可能な社会について考え、学び合う「フード」と、「伝えかた」をテーマに多様な立場の人々と学びあう「メディア」の二つのテーマで実施します。



#### 総合ディレクター 栗栖良依（くりす・よしえ）

2014年から、様々な課題や困難を手探りで乗り越えてきました。辛くて大変なことも沢山あったけど、同じだけ驚きや喜びもありました。今こそ、みんなの想像力と創造力が試される時だと思います。この6年に渡って築き上げた力を、ひとりでも多くの方と、時空を超えて共有し、「また明日も自分らしく生きよう！」と思ってもらえたら嬉しいです。